

今月の紙面

- 2面 星野前監督来学
- 3面 講演会
- 4面 関関戦フレイバック
- 5面 フランス・ドイツ週間
- 6面 西北再開発
- 7面 教授の背中・K.G. People
- 8面 OBインタビュー



■発行■
 関西学院大学新聞総部
 西宮市上ヶ原1番町1-155
 関西学院大学新学生会館3F
 電話(0798)51-1181・662-0891
 三田支局
 三田市学園二丁目1番地
 ☎669-1337

扉の一言
 {息を引き取る}
 息が絶える。死ぬ。
 大辞林より

2004年7月5日 第755号

第27回 総合関関戦 僅差で 関学勝利!!

関関戦 結果表

前哨戦	1日目	3日目
スキー競技 ○	硬式野球 ○	軟式野球 ○
航空 ×	陸上ホッケー ○	ラグビー ○
弓道 ×	バレーボール ○	アメリカンフットボール ○
ヨット ×	レスリング ×	器械体操 ×
馬術 ○	卓球 ×	フェンシング ×
スケート ○	ソフトテニス ○	拳法 ×
陸上競技 ○	2日目	ハンドボール △
重量挙げ ×	バドミントン △	空手道 ×
水上競技 ○	バスケットボール △	剣道道道 ○
サッカー ×	庭球 ○	柔道 ○
ボクシング ×	アイスホッケー ×	洋弓 △
自動車 ○	ゴルフ ×	ポ一ト ×
総合結果 17-16		射撃 ×
		相撲 ○

6月17日から19日にかけて、関西大学千里山キャンパスなどで第27回総合関関戦が行われた。3日間の激戦が繰り広げられたが、17勝16敗4分と、関学が1勝差で勝利を収めた。

前哨戦から6勝6敗と一進一退の勝負が繰り返された。本戦への雰囲気も盛り上げた。第1日目の試合では5勝1敗と圧勝。しかし、2日目

6月5日、天保山ハーバービレッジイベント広場(海遊館前広場)にて第27回総合関関戦の前夜祭が行われた。会場には両校の応援団と体育会クラブが勢揃いし、早くも対決ムードが盛り上がりつつあった。

前夜祭は両校応援団の演奏で幕を開け、その力強さは会場に集まった観客たちを引きつけていた。そして、今年も「FOOD FIGHT」と題した早食い競争が行われた。壮絶な戦いの末、関学が勝利を収めた。

その後各クラブのメンバー紹介があり、次にそれぞれのクラブは抱負を語った。最後にエール交換が行われ、会場から大きな拍手が起こっていた。



関関戦前夜祭の様子

法学部学生自治会 学生大会 開催される

学内で唯一の学部学生自治会である法学部学生自治会が、6月18日、B号館で行われた。この大会は法学部生の意見を集約し、その意見に基づいて今年度の法自の活動方針を決定することを主な目的とするものである。

当日は法学部開講の講義と授業に休講措置が取られ、学生大会は昼休みと3限に行われた。法自が学生に積極的に呼びかけるも、今回決議に参加したのは82名であり、決議の採択に必要な定足数を満たさなかった。そのため今回の決議は仮決議となり、公示期間を経て正式な決議となった。

この学生大会では、法自が以前に全法学部の学生を対象に行ったアンケートに基づいて、今年度の法自の活動方針案についての決議が行われた。また、法自の会計報告や傘下団体の活動報告なども行われた。

活動方針案報告では法自会長の岡村敬太さん(法3)によって活動方針案と決議案が読み上げられた。決議内容は授業や定期試験について、学部側に対して改善するように要求することや、法学部生同士の交流を深めるもの、知的好奇心を満たせるものを行うことなどである。

図書館 日曜日にも開館

日曜日にも図書館を開けてほしい。昨年まで、ちらほら聞こえていたこんな声。その願いが実現して、はや3ヶ月。日曜日の図書館利用者は着実に増えてきているようだ。

西宮上ヶ原キャンパス大学図書館と神戸三田キャンパス図書館が、6月6日、日曜日の開館が広く認知され始めた5月、6月は、さらに利用者は増え、今では2200人を超えている。「日曜日の利用者は、以前からの日曜日の開館要望ののっぴりしている人が多

いようです」と図書館利用サービス課の市河原雅子課長。利用者数と圖書の貸出件数を比較したとき、貸出件数はそれほど多くない。図書の出し入れも、資格試験などのために図書館を利用して勉強する人が多いようだ。

日曜日の開館など、サービスの充実を図ってきた大学図書館。今年度からは夏期休業中の土曜日にも一斉休業期間を除き開館される。さらに、今年8月には、学内のシステムリプレイスに合わせて、グループ閲覧室のうち1室がパソコン室仕様に改装される。これにより、現在の79台に加え、新たに約30台、パソコンが追

加されることになる。また、図書館所蔵資料のデジタル化も進められており、よりいっそうのサービス充実を目指している。

ところで、年間の圖書の貸出件数はというと、約19万冊。平日の利用者は、上ヶ原の大学図書館の場合、1日およそ5千人。試験期間中は1万人近くまでふくれ上がる。このように多くの人が利用する中で問題となっているのが、閲覧席の独占や私語といったマナーの問題だ。図書館では1日に数回巡回をしているが、それでもクレームは絶えない。「関学の図書館は長期滞在型が1つのコンセプト

ト。ですから、席の独占については難しいところですね。でも、できるだけ多くの人に利用してもらいたいため、本やカバンで席を取ることはいけません」と市河原課長。より快適な図書館にするために、マナー向上を今後も呼びかけていくという。

① 開館日時
 第4日曜を除く、授業有り期間中の12時から18時まで

② サービス内容
 図書の出し入れ、返却、閲覧、館内施設の利用

1日の中で家族と過ごす時間は、いつとなくとれらるのだらう。とふと考えてみた。朝起きて学校へ行き、そのままクラブ活動、あるいはバイトへと急ぐ。1日の活動を終えて、家に着くとささっと夕飯を済ませ、疲れてそのまま就寝。高校のときと比べて明らかに家にいる時間が減った。つい先日、帰らぬ人となってしまったいかりや長介さんは、ドリフターズの中でも父親的存在であった。厳格で口数が少なく、どっしりと構えている。まさに昭和の父親像であった。4人の子供が父親の目を盗んで悪さをする。案の定それが父親に見つかり、こっぴどく叱られるのだが、そればかりで4人の子供はまた悪さを繰り返す。それは昭和の子供にとって、したくても怖くてできなかった父親へのささやかな反抗であった。子供たちは、きつとブラウン管の向こう側で、笑いながらそれを羨ましそうに見ていたのだらう。時代が変わり平成に入ると、そのようなカミナリ親父は姿を現さなくなった。長さんという彼らの父親が亡くなったことは、実に寂しいことだ。最近では親に反抗するどころか、反発する気ささ起ころなくなつた。というのも、家族そろっての食事が減り、今日あった出来事や自分の気持ちを伝えたりする機会が前よりなくなつたからかもしれない。ふとため息をついたとき、側にいてくれる人のことを考えると、一番に挙げられるのはきっと家族だらう。そう考えると家族と過ごす時間は、一生のうちで貴重な時間に思えてくる。とはいえ、4年間の大学生活において、友人と楽しく過ごしたいと思う気持ちもあるのだが。

お詫びと訂正
 本誌754号(04年5月24日発行)に掲載いたしました記事に誤りがありました。1面の「新月祭2004へ向け提起案承認される」において、全学討論会が行われた日程が、「5月27日(神戸三田キャンパス)、5月28日(西宮上ヶ原キャンパス)」となつていますが、正しくは「4月27日(神戸三田キャンパス)、4月28日(西宮上ヶ原キャンパス)」の誤りです。2面の「ロースクールってどなんぞ?」において、訂正されていない記事掲載しているのは、写真下の安井教授の肩書きが「司法研究科長」となつていますが、正しくは「司法研究科教授学生主任」の誤りです。



システムリプレース PCが大幅に強化

7/11(日)	9~18時	経済学部・第4別館・学生サービスセンター
7/18(日)	9~18時	社会学部・保健館・関学会館
	9~21時	メディア研究棟・全学共用棟・高等部・中学部・新学生会館・旧学生会館・総合体育館
7/25(日)	9~21時	西宮上ヶ原キャンパスのネットワーク停止。Webmailなど、学外からのアクセスもできません。
8/1(日)	9~21時	図書館・神学部・文学部・社会学部・法学部・第一教授研究館・A号館・B号館・C号館・E号館・F号館・ハミル館・保健館・宗教センター・関学会館

今年9月に、3年に一度のシステム・リプレースが行われる。これにより、今あるパソコンがすべて入れ替わり、システム面も大幅に強化される。関学生が日頃からお世話になっているパソコンがどうなるのだろうか？

「俺は優勝させに来たんだ。ファンに嬉しい涙を流してもらうために」と宣言する。3年間のうち優勝にチャレンジし、徹底的に勝つということにこだわった。言ったことは

今回の講演会では、当日の混雑を予想して、事前に先着順で聴講券が配布された。しかし、関学生限定だったにもかかわらず、用意されていた1100枚の聴講券はすぐに無くなり、悔しい思いをした学生も多かったはず。また、当日は開場時間前から多くの学生が詰めかけ、会場は早くから満席となった。

5月20日、上ヶ原キャンパス中央講堂にて、阪神タイガース前監督星野仙一氏による講演会が行われた。阪神タイガースを18年ぶりに優勝に導いた男、星野仙一。タイガースへの熱い思いはどこから来るのか。

星野前阪神タイガース監督 本学で講演

講演時間になり、いよいよ星野氏の登場になると一気に会場は盛り上がった。「行って助けてやる」。それまで2度断ったタイガースの監督を引き受け、星野氏は立ち上がった。キャンプ前日、

「俺は優勝させに来たんだ。ファンに嬉しい涙を流してもらうために」と宣言する。3年間のうち優勝にチャレンジし、徹底的に勝つということにこだわった。言ったことは

講演時間になり、いよいよ星野氏の登場になると一気に会場は盛り上がった。「行って助けてやる」。それまで2度断ったタイガースの監督を引き受け、星野氏は立ち上がった。キャンプ前日、

「俺は優勝させに来たんだ。ファンに嬉しい涙を流してもらうために」と宣言する。3年間のうち優勝にチャレンジし、徹底的に勝つということにこだわった。言ったことは



熱弁する星野前監督

2003年ついに阪神タイガースの優勝が決まった時は「嬉しい」というより、ホッと東が果たせた。御堂筋パレードの時は、「ありがとう」と言うファンに対して、心から笑顔で手を振った。「決断して前へ出て、後悔するなというじゃないか」という星野氏の野球に対する思いは、学生

の心にも響いた。最後に星野氏は、最近「おかげ」を大事にしているという。今の自分があるのは野球のおかげであり、そして、自分を支えてくれている家族、選手やファンのおかげである。周りにいる人たちのことを見つめて、もう一度おかげの大切さを考えてほしいと語った。

システム面はどのようになるの？ システム面では容量が大きく変わる。特徴的なものを以下にまとめた。

まず、クライアントOSが現在のWindows2000からWindowsXP Proに変更になる。それにもない、ログインの方法も変わる。

次に、ファイルサーバーの個人ごとの容量が50Mから100Mへ大幅増量され、さらに大量のデータが保存できるようになる。また、学外からの使用も可能になるが、プロードバンド接続でない場合には非常に時間がかかるので注意である。

さらにメールも家からより一層便利に見ることができるようになる。現行では、学内ではOutlook Express、学外から見ることになる場合は、OWA(Outlook Web Access)を使っている。次期システムはOWAに統一され、メールボックスの容量も25Mから50Mに変更される。ユーザは全部で2万人近く。そのメールの容量だけを考えると、1(T)テラバイトもの膨大な容量となる。

ハード面は？ PC・モニタが更新され、モニタは液晶モニタとなる。さらに、表示画素数も増え、画面は見やすくなるだろう。また、貸出されているノート型パソコンは機能アップし、その台数も増加する。

さらに、プリンタの機種変更および、一部カラープリンタを導入する予定となっている。

こうした性能、台数のアップにより使いやすく、より多くの人が使用できるようにしていくのだ。

システム・リプレースによる教室等の変更 第1PC教室(情報メディア教育センター2F)は、机・椅子を固定しないレイアウトフリー設計の教室に変更となる。大型プロジェクトとスタ

リーンを配し、プレゼンテーションルームとしても使用可能になり、自由度が上がる。さらに、第2PC教室(情報メディア教育センターB1F)は、Grid Computingに対応したPC教室になる。この教室ではWindows/Linux(Red Hat)のDual Boot環境が提供される。また、第4別館1FのPCサポート室横の部屋をMacintosh利用室として新設する。台数は10台設置する予定。

このように、全体の質、量は大きく向上することとなる。

また、ネットワーク工事および、ネットワーク機器更新作業のため、上記(表)のような日程でホームページ閲覧やネットワークを利用した全てのサービスが利用できなくなるので、注意が必要だ。

まとめに 今回リプレースでは以上に挙げたもの他にも、安定的にシステムを運営するために、冗長化(ハードディスクが壊れたときに、すぐに代替できるシステム)や、電気周りのトラブルを避けるための電源の2重化、停電になってもある程度は耐えられるように無停電源装置の増強などもあわせて行う。この背景としては、システムの安定した運営を目指し、関学生により良い環境を提供することにある。

これからは高度情報化社会が待ち受けている。我々も無関係ではいられない。これを機にパソコンにより親しんではどうだろうか。最新の情報は関西学院大学情報メディア教育センターのホームページ(<http://www.media.kwansei.ac.jp/>)を。

謝罪文 H16.6.24

04年6月15日午後8時頃、関西学院大学の新学生会館4F廊下にて、探検会のメンバーが熊よけスプレーを試し射ちし、近くに部室のあるラクロス部の学生が病院で治療を受けるという事件を起こしました。我が部はこの夏、合宿で北海道の大雪山に行く計画を立てており、その部員は倉庫の奥から見つかった、いつのものかわからない熊よけスプレーが、実際に使用できるのか試し射ちしてしまったのです。その際近くに人がいるとは知らず、廊下の窓を開けて帰宅してしまいました。

この事件で直接被害を受けたラクロス部の方々、またテレビや新聞に「関西学院大学」の名を出す結果となってしまう、関学生及び学校関係者に多大なご迷惑をおかけしました。しばらくは活動を休止し、このような事件が二度と起こらないよう対策を十分なものとしてから今後の活動を行っていきたいと思います。本当に申し訳ございませんでした。

関西学院大学 探検会

6月15日午後8時ごろ新学生会館4階で臭臭騒ぎが起った。この事件は部室でミーティング中だったラクロス部の部員8名が目の痛みなどを訴え、市内の病院に運ばれるというものだった。幸い、いずれの部員も軽症でその日のうちに帰宅した。

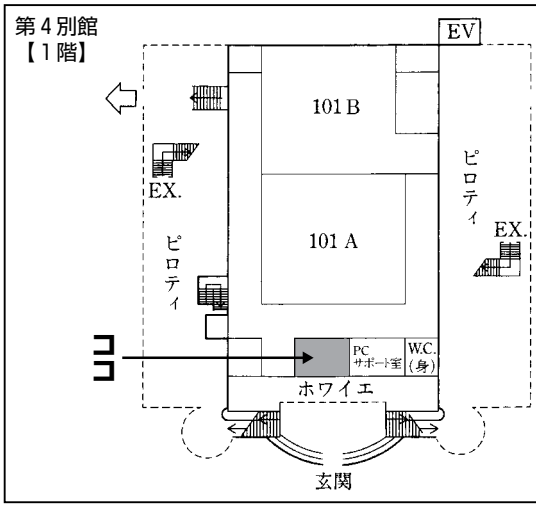
翌日になって、テレビや新聞などで騒動を知った探検会のメンバーが学生課に名乗り出た。そのメンバーの話によると、探検会部室前の廊下にて、人がいないことを確認してから熊よけスプレーを噴射した。部員たちはラクロス部の部室にも人がいないと思込んでいたが、そのとき、ラクロス部の部室が開いていたため、臭臭が流れ込んでしまったという。

新学生会館で臭臭騒ぎ

なかつた備品であったので、使用可能かを確かめるために噴射された。その後部員たちは帰宅したという。この騒ぎに対し、大学側は部員に厳重注意した。



騒ぎのあった現場



新設されたMacintosh利用室

カレーの市民 アルバ 営業時間 10:30~21:30 定休日なし

西宮市松籬荘7-20 (0798-51-0827)

¥50 割引券 1枚につき3名様までご利用いただけます。ただしサービスメニューには使えません。

関西学院大学 三井住友銀行

K.G.出身アナによる 「アナウンサーになる方法」

8面にインタビュー記事掲載

5月21日から28日にかけて、就職部就職課が本学の1年生を対象に「……になるには」シリーズを開催した。今回はアナウンサー採用という狭き門をくぐり抜けて入社を果たした。

まずそれぞれの大学生活や就職活動から話がスタート。同課が企画したのも、講師には社会の第一線で活躍中の関西のBを招いて現在の仕事や、どのように大学生活を送ってきたかを話してもらった。

5月21日にはアナウンサーになるには「アナウンサーになるには」の講演会が行われた。講演の行われる文学部1号教室にはアナウンサーを志す学生が多数詰め掛けた。講師

障害への理解を願って 小林豊さん講演会

5月29日にスポーツセンターでヒューマンサーピステンター(HSC)主催の、小林豊さんの講演会が行われた。講演では小林さんの長女、百合香ちゃんが障害を持って生まれたこと、小林さんが感じた人生を語った。

小林さんが講演活動を開始したのは、「障害児の父母が直接語るケースが少ない」と頼まれたことがきっかけ。「障害は本などでも学ぶことは可能だ。しかし、実際に現場に行かないとわからない。私は障害者の話をしているわけではないので、けっして特別な話ではない」と語り、若者や親に聞いてほしいと話した。

講演では、現在、中学1年生の百合香ちゃんが障害を持つ

はTBSに勤務する有馬隼人氏と、テレビ朝日に勤務する安西陽太氏。ふたりともアナウンサー採用という狭き門をくぐり抜けて入社を果たした。

講演の後、学生からの質問時間が設けられ、「関学は東京ではネームバリューがないのでは」といった質問から民達とNHKのアナウンサーの違いなど多岐に渡ったが、ふたりともそれぞれの質問に丁寧に答えていた。

最後にこの講演会の本題、「アナウンサーになるには」の問いに、ふたりはそれぞれ後輩へのアドバイスを語った。「自分の目と耳を働かせ、深く情報をつかむ意欲を持つことは大事だと思えます。例えば、絶えずテレビを

つけっぱなしにしたり、折り込みチラシにも目を通したり。情報の扉を開けておくことは大切なんです。この仕事はチャレンジすることが多い。緊張感を常に自分の中に置くことができる人が向いているのではないのでしょうか(有馬氏)。「正直、東京キ局のアナウンサーになるのは本当に運でも、準備はしっかりやった方が後々いいですね。色々な局の話題になっていくテレビ番組をみる。ザッピング(チャンネルをころころ変える)をしなから情報を集めることをお勧めします。また、あるアナウンサーは部屋にテレビを5、6台所有しているそうです。何よりもこの世界に絶対入ってやるぞ、という負けん気を強く持つてください(安西氏)。



ついでに「誰とも関わらないでひとりで生きていく人はいない。生まれたことの奇跡を感じてほしい」と聴講者に語りかけた。また「障害者本人が、障害者として生まれてきてよかった」と語ることでよくある。しかし、これは本人にしか言えない言葉だ。我々、親としてはそのような

言葉は美談でしかないと思っ

5月29日、30日に上ヶ原キャンパスにおいて、日本経済政策学会第61回全国大会が開催された。30日には、特別セッションとして、経済財政諮問会議議員・本間正明氏の講演「日本型意思決定システムと小泉構造改革」と題して行われた。本間氏は現在、明治以降最大の意思決定システムの転換期と位置付け、現在のシステムの課題としてタ

果経済成長の妨げとなったと、90年代をこのように振り返った。また、このような政策は財政赤字を増大させるため、時代遅れになっている。これからは、民間需要を増や

参加に期待している、と呼びかけた。

講演後の質疑応答では、「高校生が関わることでできるボランティアはあるか」「UNVの運動が本当に人の役に立っているのかどうか疑問に思ったことはないか」など、幅広い質問が英語で交わされた。

なお、UNVがボランティアを派遣している国際情報技術サーピス(UNITESS)は、関学学生の派遣員を募集している。詳しくは国際交流課まで。

国連ボランティアとは？ アド・デラード氏講演会

今年で、総合政策学部は創設10周年を迎える。本学はそれを記念して5月を「国連月」とし、国連機関の現役トップを招いた連続講演会を開催した。連続講演会の最終日である5月28日には、関西学院国連ボランティア計画(以下UNV)事務局長代行アド・デラード氏を迎えた。

この講演では300席ほどが用意されていたが、立ち見が出るほどの盛況ぶりとなった。氏はこの講演で国連ボランティア計画の理念や方針を説明する中で、2000年に「ミレニアム開発目標」が2015年までに達成することを目標としていること述べた。

また、この達成のために一般の人の理解と参加が不可欠だ、と聴衆に訴える一方、関西学院大学が日本で初めてUNVと協定を結んだことを挙げ、関学学生のボランティア

本間正明氏は地方に偏った公共投資が地方における公共投資の限界生産力を下げ、その結果持続可能な政策を取るべきであると語った。90年代のマクロ経済バランスを変化させ、官に流れてきた資本の流れをいかに民間へ流れるよう

この講演では300席ほどが用意されていたが、立ち見が出るほどの盛況ぶりとなった。氏はこの講演で国連ボランティア計画の理念や方針を説明する中で、2000年に「ミレニアム開発目標」が2015年までに達成することを目標としていること述べた。

また、この達成のために一般の人の理解と参加が不可欠だ、と聴衆に訴える一方、関西学院大学が日本で初めてUNVと協定を結んだことを挙げ、関学学生のボランティア

な予算の分配の不具合も各府庁のタテ割りシステムが原因であると述べた。

経済財政諮問会議の目標は「21世紀の持続可能なシステム」の構築である。小泉総理の任期終了後も首相のトップダウン方式による意思決定システムを持続させるため「骨太の方針2004」を作成中であると語った。

また、この達成のために一般の人の理解と参加が不可欠だ、と聴衆に訴える一方、関西学院大学が日本で初めてUNVと協定を結んだことを挙げ、関学学生のボランティア

新入部員募集中!

みんなで力を合わせて何か作りたい人募集!

関西学院大学新聞 K.G.PRESS

場 所: 新学生会館3階 エレベーター裏
TEL・FAX: 0798-51-1181
HPアドレス: <http://member.kwangaku.net/kgpress/>

夏休みに運転免許をゲット!

武庫川自動車学園 06-6431-5267

短期集中コース 最短通学日数18日

便利なスクールバスは、関学正門横より毎時間運行中!
-お申込みは、大学生協まで-

関関戦で勝利を吠える!! 決戦再現!!

相撲 3-0

関関戦最終日、相撲道場で
は関学の連勝を賭けた取り組
みが行われた。関学は去年で
も健闘の末、3位に食い込ん
だ。
団体1回戦では関学の玉
田、関沢、クズマともに関大
を倒し、3-0で完封勝利。
2、3回戦も共に2-1で関
学が勝った。交換留学生のマ
イケル・クズマも団体戦3回
の試合のうち2勝をあげ、関
学勝利への一翼を担った。関
学は相撲の強豪としての貫録
と本領を示し、関大を圧倒す
る試合運びとなったといえる。
個人戦を含め、2勝2敗で
試合を終えたマイケル・クズ
マは「すごくうれしい。自分
の相撲ができてたと思う。よ
くがんばって、勝った」と喜
びをあらわにした。キャプテ
ンの関沢は試合を振り返るか
えり、「人数では負けているの
で、試合では勝とうと思っ
ていた。今回は接戦でしたね。
関大は大学から相撲を始めた
人ばかりなので、圧倒的に勝
たなきゃならなかった」と厳

しくコメント。相撲部の監督
であり、今回行司をつとめた
池田富士男は、「3人とも自
分の相撲を發揮し、勝負を諦
めないで予想以上の頑張りを見
せてくれました。いい思い出
になったんじゃないかな」と
語った。
これで関学は8連勝となっ
たが、来年で関沢が卒業、ク
ズマも今月帰国するため、部
員が玉田1人になってしま
う。来年の9連勝を目指すた
めにも、相撲部は部員を熱烈
に募集している。



剣道 7-4

剣道部の対決で両校20名の
選手たちが熱い火花を散らせ
た。試合結果の方は7勝4敗
9分と、関学が関大に快勝し
た。
試合では、盛大な応援のな
か、両校選手たちがそれぞれ
の意地を剣に乗せ熱戦を繰り
広げた。会場となった中央体
育館では選手たちの気迫のこ
めた。



関学 VS 関大

ガチンコ対決!!

アメリカンフットボール 41-12

アメフトは関学の貫録勝
ち。6月19日、関大中央グラ
ウンドで行われたアメフト
関関戦は、41-12で大方の期
待通り関学が実力の差を見せ
つけた。
試合開始早々関大に攻め込
まれるも、第1Q(クォーター)
11分にRB辻野祐志(経3)
がTD(タッチダウン)を決め、
関学が先制。その後は完全に
関学のペースとなり、第2Q
にも2TDを奪う。守備面にお
いても関大のパスをことごと
く封じ、前半の失点は1フィ
ールドゴール(TDをねらわ



女子ハンドボール 5-34

の素早いパス回しと、正確な
ゴールにより、次第に点数は
離されていった。なかなか相
手チームのゴールエリアに近
づけない関学は、その焦りか
らか、相手に対するフェール
や、反則による7mスローの
チャンスを与えてしまう。関
大はこのチャンスも丁寧にか
つめ、前半が終了した時点で、
14対1。関大に13点もの差を
つけられてしまった。
巻き返しを図る関学は、後
半開始直後から果敢に攻め込
んだ。しかし、相手の守りは
堅く、なかなかゴールが決ま
らない。また、ゴール前でパ
スが途切れることも多く、関
大のゴールネットを揺らすこ
とができない。試合は再び、
関大ペースが進むことになっ
た。選手全員がシュートを決
める関大に対し、数少ないシ
ュートをに対し、GKの片岡
麻里子(社3)がナイスセー
ブを繰り返す。しかし、関大



開始直後にゴールが決ま
り、一気に波に乗る関大。
次々とくりだされる関大側の
シュートに対し、GKの片岡
麻里子(社3)がナイスセー
ブを繰り返す。しかし、関大
は、キックで得る得点のみ
と、危なげない試合運び。後
半に入っても攻撃の手を緩め
ず、立て続けに3TDを奪い、
試合を決めた。
しかし、試合終盤になって
関大が反撃。第4Q8分関学
のトライフォーポイント(TD
の追加得点チャンス)、キ
ックが相手DLにブロックさ
された。
また、この試合では大勢の
学生や大学OB、地域住民が
応援に詰めかけ、
伝統の一戦に華を
添えた。
ユートチャンスも、ボールに
嫌われる関学。試合終了間際
には、仲井純子(社3)、
佐々木梨絵(文2)、井宮由
佳(社3)らの活躍により、
立て続けに3点をあげるもの
の、結果は34対5の大敗。
「全員1点以上決める」とい
う今年の目標は、来年に持ち
こされることとなった。

7月10日
文学部、創立70周年記念
シンポジウム
「現代社会と人文科学」
関西学院会館

関学新聞特製の
スペシャルプライス!!
ケア用品も全品半額!!

中央コンタクト三宮店で初めて
コンタクトレンズをご購入の方のみ
コンタクトレンズ
¥1,000引

2WEEK 1DAY
Medalist
¥4,100 ¥2,080

メニコン
半額の半額!
メニコンソフトS ¥5,700
メニコンZ ¥7,600

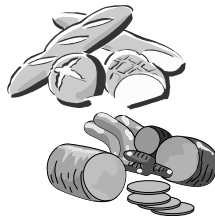
年中無休 営業時間/11:00~20:00 全国64店舗でサポート!

中央コンタクト

フランス・ドイツ週間

今年も開催!!

毎年恒例となった、フランス・ドイツ週間。フランスやドイツの文化に触れてもらおうと始められたこのイベントも、今年で6年目を迎える。期間中は様々な企画のほか、食堂でフランス風、ドイツ風メニューが登場し、生協書籍部では、それぞれの国の関連ブックフェアが開催され、多くの学生にとって異文化理解を深める良ききっかけとなった。ここでは、期間中に行われた特徴的な催しを紹介しよう。



フランス週間(6/7-11)

10日には、歌手の須山公美子さんによるコンサート、「ランチタイム・シャンソン・ミニライブ」がプラザで開催された。アコーディオンを弾きながらシャンソンを歌い上げる須山さん。プラザでは多くの学生が足を止めて、彼女の歌声と演奏に聞き入った。演奏された曲は6曲。CMで聞いたことのある曲から、「愛の賛歌」といったメジャーな曲まで。曲の前には必ず、須山



さんによる曲の解説と、その曲のエピソードが語られ、シャンソンに触れる機会が少くない学生にも楽しめるように工夫がされていた。

その中でも、5曲目に披露された「Le Deserteur(脱走兵)」は、須山さんが今回どうしても演奏したかった曲。ボリス・ヴィアーンが作ったこの曲は、アルジェリア戦争のときに、時の大統領・ゴールにあてた手紙の形式をとったもので、徴兵を拒否するという内容。反戦をテーマにした曲を聞くことで、少しでも世界の状況について考えたいという須山さんの願いがこめられた演奏となった。「きれいなものばかりがシャンソンではないんです」。須山さんが聞いている人たち

に伝えたかったものは、シャンソンの奥深さ、幅広さであったようだ。

「おもしろい歌もあれば骨太の歌もある。だから、みんなにもっともっとシャンソンに触れて欲しいですね」とコンサート終了後、須山さんは笑顔で語ってくれた。

関西学院会館横のオハラホールでは、フランス週間の期間中、学生によるカフェ「Café Croissant」が開かれた。初日は100人ほどだった客が、日に日に増え続け、200人を超える日も。「うわさがうわさをよんでいったという感じですよ」と、店長の磯野有賀さん(文3)も驚きを隠せない様子。このカフェでは本格的なフランス軽食を楽しむことができ、天気の良い日はテラス席で、ガトー・シヨコラ(300円)やキッシュ(400円)を味わうことができる。昔屋にあるフランス料理店から提供してもらったガトー・シヨコラは、一番人気の商品であり、遅く行く人気があって1ヶ月前から準備をしてきただけあり、「雰囲気もいいね」と言われることもしばしばある。テーブルごとにメニューとフランス紹介をかねた手作りの紙が置かれ、どのテーブルに座るかで違った紹介内容を見ることができ。パン、ワイン、



観光名所、建築物とその内容は様々。フランス語の雑誌も置くなど、少しでもフランス文化に触れてもらえようという工夫がされていた。「フランスはカフェの文化なんです」とフランスの魅力について語る磯野さん。カフェ自体の歴史もさることながら、カフェ文化の奥深さもそこにある。「哲学者のサルトルはカフェで討論していたし、芸術家たちは自分の作品をカフェに置くかわりに、食事させてもらっていたんです」。フランス文化の理解はカフェなしではありえないというわけだ。

「カフェ作りで苦労したこととなく、あんまり、ないですね。とにかく楽しい。毎日でもやりたいです。終わったときの達成感はずいと思えます」。フランス週間は、そのころにメニューとフランス紹介をかねた手作りの紙が置かれ、どのテーブルに座るかで違った紹介内容を見ることができ。パン、ワイン、

「街」をイメージした関学生によるオンラインショップ



手作り雑貨を扱うオンラインショップ「ma街chi」。そのショップは神戸三田キャンパスのグループ「」によって運営されている。作家とお客さんが1つの街を作り上げる」というコンセプトこそが「ma街chi」の由来であり、理想とするところでもある。サイト内では作家それぞれのお店が設けられ、商品を販売している。お客さんはその店に入り込んで、その商品を購入する。そうしたコミュニケーションがネット上で1つの「街」を作り上げていくのだ。

今回の旅のビックイイベント、ライン河下りを満喫。楽しみにしていたから、少しぐらいの早起きは問題ない。さらに旅を続け、5日目はケルン大聖堂を見物。ライトアップされた姿に、ただただ感動。次の日はアーヘンを訪れ、お勧めのお土産屋さんで買い物。最終日にはケルンに戻り、完成まで600年を要したゴシック様式の大聖堂や、チョコレート博物館を訪れて、のんびりと1日を過ごしてみたいという共通の思いを抱いた。そのとき、小物雑貨を取り扱いたいという思いもあり、また、メンバーの周辺に小物雑貨の作家を希望する人がいたことから、小物雑貨のオンラインショップを立ち上げようという企画が持ち上がったという。それが現在の「ma街chi」である。サイトを運営する上で一番の楽しみは、作家になりたいという人が見つかったときや、お客さんからの注文が来るときであるという。「街が広がっていくことを実感できます」と「ling」のメンバーは語る。

「ma街chi」のメンバーは、夏にドイツを旅する旅行者になった。この展示は、夏にドイツ旅行を考えている人はもちろん、なかなか旅に出ることができない人にとっても、旅行気分を味わわせてくれるものとなった。

息が絶える。死ぬ。大辞林よりある知人が亡くなってしまったことだ。葬儀を進めていたお坊さんの話があり、その中でこんな話があった。人が死ぬことを、息を引き取る、という。一般に使われているのはこの意味である。しかし、お坊さんの言うのはそうではなく、故人の「息」を我々が「引き取る」ことな

この話を聞いたとき、はっとさせられた。なぜなら、この言葉こそが、長年に渡って私の胸の中に引っかかっていたものの答えだったからである。小学生のとき、命をバトンに例えた文があった。その文には、自分たちは命というバトンをもって、昔から続いてきた命のレールの先頭にいるのだ、ということを書いていた。しかし、その文自体には納得できるのに、「命のバトン」というものがどうしてあやふやで、どうしても埋めきれないまま、記憶の中に命のバトンを大切にしたい。



告知っ!!

関学新聞では、皆さんにとってより身近で楽しい新聞にするためのみなさんの「声」をお待ちしています!!

ご意見は こちらまで
メールアドレス: kgpress@kwangaku.net
TEL・FAX: 0798-51-1181
場所: 新学生学館3F エレベーター裏

連載 Vol.6 クラブ・サークル 生現場

「ハーモニカ ソサイアティー」

やっているのはハーモニカ。な形になったという。だけじゃありません。

先入観だけでは判断できない、そんなクラブがある。そのクラブの名は「ハーモニカ ソサイアティー」(以下「ハモソ」)。名前からハーモニカだけのクラブと判断してはいけない。その実は4種類の高音にハーモニカを回し、結果的にハーモニカを感じました。まず居心地のよさを感じました。雰囲気アットホームで、ギター、フルートからパーカッション、ヴィブラホンまで数多くのパートを持つビッグバンド。ちなみに、前身も含めると100年以上の伝統がある団体で、前身時代はハーモニカにティンパニを加えたハーモニカバンド。30年前からだんだんパートが増えてきて、現在のよう



モソの良いところは、「ハーモニカって誰にでも取っつきやすい楽器じゃないですか。だから音楽は初心者という人でもできる。それについて奥が深いんですよ。また、ロック、クラシック、ポップス、ジャズ、フュージョンなどいろいろなジャンルにも挑戦できる。クラブ自体がひとつのバンドなので、毎年

北は、阪神・JRなどの主要な駅に比べてもポテンシャルの高い土地として、西宮市の総合都市計画において「都市核」として位置付けられている。

新生 西北!! その全貌は!?

一日約7万人が利用する阪急西宮北口周辺(以下西北)が多。大阪と神戸から約15分という好立地に位置する西

この再開発計画は西宮市や阪急グループなど様々な企業が参加し、昭和60年頃から行われていた。西北周辺をより発展させる事が目的である。それが1995年の阪神大震災の復興活動をきっかけに加

賑やかな音色をかもし出して。演奏が終わった後で、「何でもできますよ」と気さくに話す部長。次に全くジャンルの違う「ユーロスター」を聴かせてくれるなど、本当にどんな曲でも演奏できそうである。

「合同でイベントを作り上げていく分、連帯意識はものすごく高まっていますよ」と気さくに話す部長。次に全くジャンルの違う「ユーロスター」を聴かせてくれるなど、本当にどんな曲でも演奏できそうである。

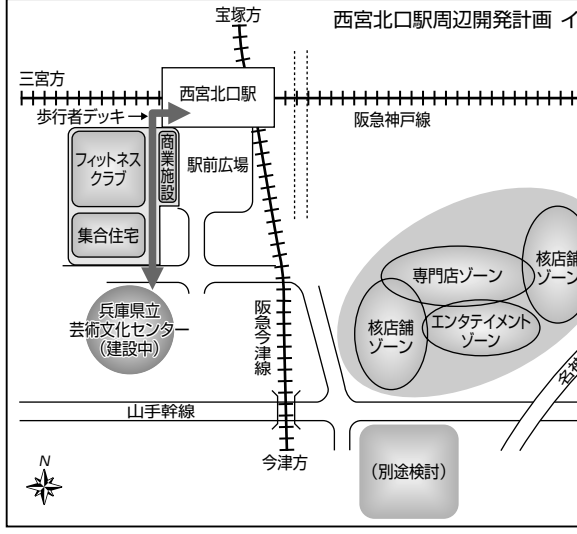
この再開発計画は西宮市や阪急グループなど様々な企業が参加し、昭和60年頃から行われていた。西北周辺をより発展させる事が目的である。それが1995年の阪神大震災の復興活動をきっかけに加

賑やかな音色をかもし出して。演奏が終わった後で、「何でもできますよ」と気さくに話す部長。次に全くジャンルの違う「ユーロスター」を聴かせてくれるなど、本当にどんな曲でも演奏できそうである。

「合同でイベントを作り上げていく分、連帯意識はものすごく高まっていますよ」と気さくに話す部長。次に全くジャンルの違う「ユーロスター」を聴かせてくれるなど、本当にどんな曲でも演奏できそうである。

賑やかな音色をかもし出して。演奏が終わった後で、「何でもできますよ」と気さくに話す部長。次に全くジャンルの違う「ユーロスター」を聴かせてくれるなど、本当にどんな曲でも演奏できそうである。

「合同でイベントを作り上げていく分、連帯意識はものすごく高まっていますよ」と気さくに話す部長。次に全くジャンルの違う「ユーロスター」を聴かせてくれるなど、本当にどんな曲でも演奏できそうである。



利便性や賑わいの為に、多くのものを犠牲にするのでは意味がない。例えば、街づくりのために土地を手放さなければならぬ住民も出てくるだろう。そういう人たちもちゃんと納得し、かつみんなの利益になる事が一番望ましい。震災で得た教訓や地域住民の協力を得て、出来上がる西北周辺は数年後、素晴らしい変化を期待できるだろう。

関学生のためのインターネットサービス 関学ネットは関西学院大学新聞総部をサポートしています つながる、ひろがる、関学ネット KWANGAKU.NET

「昭和歌謡 大全集」 村上 龍 著 Masterpieces

夜な夜な浜辺で歌謡曲を歌う少年たちのグループ。ミドリという名を持つオバサンたちの集まり、「ミドリ会」というグループ。彼らがこの物語の主人公たちである。2つのグループの血まみれの戦争は少年たちの1人であるスギオカが、ミドリ会のメンバーの1人ヤナギモトミドリを

K.G. PEOPLE

ひと ～今、輝く関学生たち～

アメリカ生まれの大和魂

マイケル・ ジョージ・ クズマ (留学生)



金髪碧眼、耳にはピアス。日本ではいわゆる「ガイコクジン」と呼ばれるマイケル・ジョージ・クズマさん(21)。「魂」が確かに息づいている。クズマさんは、米・ネブラ

い、とても気に入ってしまっ
たという。
そんな彼だが、以前から相
撲が好きだったわけではな
い。アメリカでは日本の伝統
的なスポーツとして有名な相
撲。アメリカに在籍するから
テレビ放送などなじみがあ
ったが、相撲に対するイメー
ジは良くなかった。「相撲の
選手は脂肪が多くて、あんま
り強くないと思っていて」。

ところが、日本で実際に相撲
に触れてカルチャーショック
を受ける。「太っているよう
に見えるけど、あれは全部筋
肉。相撲を甘く見ていた」と
クズマさん。特に、四股を踏
む動作の奥深さに感銘を受け
たそう。一見簡単そうだが、
バランスを取るのが難しく、
集中力を要する。今ではど
も好きな型だ、とクズマさん
は語る。「つっぱり」も彼の
好きな型のひとつだ。「つっ
ぱり」日本語じゃ説明できな
い。英語でも説明できない
。とにかくやってみなけれ
ば分からない」と言うクズマ
さんは、英語と日本語の境を
超えた何かを、相撲を通して

つかみかけているのかもしれ
ない。
そうしてトレーニングを重
ねたクズマさんは、今年6月
6日に堺市の大浜相撲場で開
かれた西日本学生相撲選手権
大会へ出場。7月末に帰国す
る彼にとって、最後の公式戦
となった。成績は1勝3敗と
いう結果だったが、自分の相
撲ができたことで目的を果た
せた、と満足した様子だ。
尊敬する力士は、やはり外
国人力士として活躍している
朝青龍と、外国出身として史
上初めて大相撲の横綱になっ
た曙。「日本に来た時には苦
しかったと噂がテレビでコメ
ントしていて、自分もそうだ
なと思った。でも、相撲をや
って日本に慣れるのが早く
なったし、日本が好きになっ
た」。前向きで明るいクズマ
さんの性格は、そのまま相撲
のトレーニングにも表れてい
るようだ。

相撲部監督の池田富士男さ
んは、クズマさんの稽古振り
を見てこう語る。「彼は負け
ず嫌いで、まじめで、基礎体
力もついているからいくらで
も強くなる」。その言葉どお
し、稽古に励んでいるクズマ
さんの姿には力の限りぶつか
ろうとする意志がうかがえ
る。ひたすら、前へ、前へ。
力士としては小柄なクズマさ
んだが、土俵の上で腰を落と
して相手を見据える彼は、大
きく見えた。

伝統ある日米学生会議に参加決定

ひろた あい 広田 愛 (社2)

この度、第56回日米学生会
議に参加が決まった広田愛さ
ん。「今再考の時―日米関係
と私たちの使命」というテー
マの下に、全国から集まった
総勢40名の学生とともに、こ
の夏1ヶ月に渡りアメリカの
学生とディスカッションする。
日米学生会議とは、193
4年日米関係の悪化を憂慮し
た学生たちにより、「国境を
越えた平和のための対話」の
試みとして開始されたもの。
日米両国から集約80名の参
加者は1ヶ月近くの集団生活
によって国を越えた友情を育
み、またアカデミックな議論
を通して自分たちの学究課題
を深め合う。今年70周年記
念式典をハワイで行い、その
あとサンフランシスコ、ワシ
ントンD.C.、プリンストン
を訪れる予定だ。過去の参加
者には宮沢喜一元首相やキャ
シンジャー元米副大統領など
ど日米の架け橋となって活躍
している人が大勢いる。

広田さんは会議では特に、
社会と科学技術 (Science
and medical practice)
の分科会に所属。現在は会議
の準備中だ。

「熱く語り合う夏があっても
いいと思う」というポスタ
ルのロゴに魅かれたのと、こ
れを機にアメリカ人とアメリ
カについての理解を深めるこ
とができるかもしれないと思
ったからだという。会議への
意気込みを「最高に熱い夏に
したい」と語り続けた。



教授 村尾 信尚 教授



情熱。今月号で紹介する教授はこの言葉がピッタ
リ似合う人である。名前は村尾信尚教授。先生は2
003年10月から関学の教授に就任したばかりで、
活動は主に東京オフィス、講演会やTVのコメンテ
ーターなど多忙な仕事の傍ら、市民団体「WHY
NOT」や「もっぴ」との日本を考える会、などN
PO活動にも力を入れている。

先生は1955年に岐阜県高山生まれ。中学生の
時にスキーを始め以来大学までスキー一筋。学生
時代には年間100日の合宿をこなしたとか。一橋
大学経済学部卒業後、1978年に大蔵省(現財務
省)に入省。その後、ニューヨーク日本総領事館
副領事など数々の要職を歴任し、1995年三重県
の総務部長として、当時の北川正恭知事のもとで
政改革に取り組む。この三重県を過ごした約3年間
が大きなターニングポイントとなっている。

赴任当時はいわば役人生活の骨休みの気分であ
ったらしい。しかし、現実が大きく違っていた。そ
つかみかけているのかもしれ
ない。
そうしてトレーニングを重
ねたクズマさんは、今年6月
6日に堺市の大浜相撲場で開
かれた西日本学生相撲選手権
大会へ出場。7月末に帰国す
る彼にとって、最後の公式戦
となった。成績は1勝3敗と
いう結果だったが、自分の相
撲ができたことで目的を果た
せた、と満足した様子だ。
尊敬する力士は、やはり外
国人力士として活躍している
朝青龍と、外国出身として史
上初めて大相撲の横綱になっ
た曙。「日本に来た時には苦
しかったと噂がテレビでコメ
ントしていて、自分もそうだ
なと思った。でも、相撲をや
って日本に慣れるのが早く
なったし、日本が好きになっ
た」。前向きで明るいクズマ
さんの性格は、そのまま相撲
のトレーニングにも表れてい
るようだ。

むらお・のぶたか
1955年岐阜県生まれ
1978年 一橋大学経済学部卒業

このスペースで、
関学生にPRを。
関学生への広告は、
関学新聞が承ります。
広告料
4,500円
●発行回数は年6回。発行部数は6,000
～9,500部です。
●長期休暇前や、新入生・受験生に配布
する号を狙っての掲載も可能です。
お問い合わせは、
〒662-0891 西宮市上ヶ原1-1-155
新学生会館3F 関西学院大学新聞総部まで
(詳しい資料をお送りします)
TEL・FAX 0798-51-1181
メール: kgpress@kwangaku.net

OBインタビュー テレビ局アナウンサー



アナウンサー！

テレビなどで直接視聴者に情報を届ける仕事。自分の言葉で人に何かを伝える仕事。近年アナウンサーを目指す学生は非常に多い。今回は競争率が何千倍ともいわれる、東京キー局のアナウンサー試験に合格し、アナウンサーとしてテレビ局に入社した、有馬隼人さん(TBS)と安西陽太さん(テレビ朝日)にインタビューに答えてくれた。

「なぜ関学に？」
大学時代はアメリカンフットボールの名選手として名を馳せた有馬さん。エースQBとして、4回生のときにチームは学生日本一になり、年間最優秀選手にも輝いた。「高校からアメフトを始めて、その魅力にはまりました。アメフトって、将棋みたいに一手一手進めていって、相手とかけひきをするスポーツなんです。そのかけひきがおもしろいんです。テレビや球場で関学のファイターズの試合を見た当時の有馬さんは、「あそこをやりたいな」との思いから、関学に入社した。

「印象に残っている授業は？」
「商学部の平松(二夫)先生のゼミはカリカリしてなくて、気楽な雰囲気が好きでした。平松先生は会計学で有名な先生ですが、アメフト部の顧問を務めていたり、多分野の目を向けていらして、その魅力に引き込まれていました。そんな先生の話を聞くのが楽しかったです。そういう例えばフランス語に苦勞したかな(笑)。難しかったですよ(笑)。」と有馬さんは苦笑い。

「総合政策学部の藤田(太寅)先生はすばらしい人格者。本当にたくさんのことを学びました。たとえば、『ひとつに決めつけるような判断をしない。いろんな見方があり、いろんな答えがある。その中から自分の信じた道を行け』ということをやりました。これは今、取材中とか、身に染みてわかりますね。」

「なぜアナウンサーに？」
関学では、アメフトに打ち込んでいた有馬さん。そのため、ゆとりと就職について考える時間がなかった。ただ、「スポーツに関わる仕事がしたいな」という漠然とした思いから、アナウンサーもそのうちのひとつとして考えていた。しかし4年生になってからもアメフトの試合などでも思うように就職活動ができていかなかった。その後アメフトから完全に離れ、余裕も出てきた就職活動2年後、TBSに入社後、「はなまるマーケット」や「プロロードキヤスター」などを担当する。

安西さんがアナウンサーを目指すようになったのは、「阪神大震災で死ぬ思いをしてから」と言う。震災中の当時の報道の姿を見て、矛盾を感じたこともあったが、「自分が一番に情報を伝えられる」魅力から、アナウンサーを目指す。安西さんは大学入学後から「プレインビューマニティ(NPO法人)」の活動に積極的に参加。震災で被災した児童たちをキャンプなどに連れて行く活動の企画・運営から新聞社への売り込みなど、安西さんは何度もその総責任者を務めた。その経験を生かしてテレビ朝日に入社後は、主にスポーツや報道の現場を担当している。

「報道する側という立場で感じていることは？」
「感じていることは、視聴者とも自分の口から直接、視聴者に生の情報を伝える『アナウンサー』という立場をどう感じているのだろうか。」

「とにかく守ろうと思っているのは、『間違いを伝えない』ということ」と有馬さんは真摯な眼差しで語る。「テレビを見ていて人は、初めから終わりまでずっと見ているわけじゃないと思うんです。途中でからテレビをつける人もいます。なので伝える順番やちょっとした言い回しによって、誤解を招いてしまうこともあるかもしれない。間違っていることを人に伝えることはあってはならないんです。有馬さんが多くの現場取材から学んだ教訓のようだ。

安西さんは「アナウンサーは画面に出るのが仕事。局の顔です。だから、本当に充実感がある。しかし日々他局と競争していく中で、例えば不幸な事件・事故が起こったときに、被害者に話を聞きに行くのはすごく辛い。けっして楽しいことではありません」とふたやりがいはあります」とふたりともアナウンサーという仕事の責任の重大性について真剣に話す。

「学生時代に真の社会人にならなくて、今の学生に伝えたいことは。」
有馬さん「実は学生時代に描いていた社会人像と今の自分とは思い通りにいかなかった。自分もまだ社会に出てみて迷いもある。立ち止まりつつもある。学生には月並みですけど、自分自身の時間をコントロールできるのは今のうちしかないです。自分で計画して実行するという意識を強く持つてほしいです。」

「学生時代に真の社会人にならなくて、今の学生に伝えたいことは。」
有馬さん「実は学生時代に描いていた社会人像と今の自分とは思い通りにいかなかった。自分もまだ社会に出てみて迷いもある。立ち止まりつつもある。学生には月並みですけど、自分自身の時間をコントロールできるのは今のうちしかないです。自分で計画して実行するという意識を強く持つてほしいです。」

「学生時代に真の社会人にならなくて、今の学生に伝えたいことは。」
有馬さん「実は学生時代に描いていた社会人像と今の自分とは思い通りにいかなかった。自分もまだ社会に出てみて迷いもある。立ち止まりつつもある。学生には月並みですけど、自分自身の時間をコントロールできるのは今のうちしかないです。自分で計画して実行するという意識を強く持つてほしいです。」

「学生時代に真の社会人にならなくて、今の学生に伝えたいことは。」
有馬さん「実は学生時代に描いていた社会人像と今の自分とは思い通りにいかなかった。自分もまだ社会に出てみて迷いもある。立ち止まりつつもある。学生には月並みですけど、自分自身の時間をコントロールできるのは今のうちしかないです。自分で計画して実行するという意識を強く持つてほしいです。」

「学生時代に真の社会人にならなくて、今の学生に伝えたいことは。」
有馬さん「実は学生時代に描いていた社会人像と今の自分とは思い通りにいかなかった。自分もまだ社会に出てみて迷いもある。立ち止まりつつもある。学生には月並みですけど、自分自身の時間をコントロールできるのは今のうちしかないです。自分で計画して実行するという意識を強く持つてほしいです。」

「学生時代に真の社会人にならなくて、今の学生に伝えたいことは。」
有馬さん「実は学生時代に描いていた社会人像と今の自分とは思い通りにいかなかった。自分もまだ社会に出てみて迷いもある。立ち止まりつつもある。学生には月並みですけど、自分自身の時間をコントロールできるのは今のうちしかないです。自分で計画して実行するという意識を強く持つてほしいです。」

「学生時代に真の社会人にならなくて、今の学生に伝えたいことは。」
有馬さん「実は学生時代に描いていた社会人像と今の自分とは思い通りにいかなかった。自分もまだ社会に出てみて迷いもある。立ち止まりつつもある。学生には月並みですけど、自分自身の時間をコントロールできるのは今のうちしかないです。自分で計画して実行するという意識を強く持つてほしいです。」

「学生時代に真の社会人にならなくて、今の学生に伝えたいことは。」
有馬さん「実は学生時代に描いていた社会人像と今の自分とは思い通りにいかなかった。自分もまだ社会に出てみて迷いもある。立ち止まりつつもある。学生には月並みですけど、自分自身の時間をコントロールできるのは今のうちしかないです。自分で計画して実行するという意識を強く持つてほしいです。」

「学生時代に真の社会人にならなくて、今の学生に伝えたいことは。」
有馬さん「実は学生時代に描いていた社会人像と今の自分とは思い通りにいかなかった。自分もまだ社会に出てみて迷いもある。立ち止まりつつもある。学生には月並みですけど、自分自身の時間をコントロールできるのは今のうちしかないです。自分で計画して実行するという意識を強く持つてほしいです。」

安西 陽太 さん (テレビ朝日)



あんざい ようた

1977年生まれ
2001年 本学総合政策学部
総合政策学科卒業
2001年4月 テレビ朝日入社
現在 報道局社会部に在籍、
報道記者として活躍中

有馬 隼人 さん (TBS)



ありま はやと

1977年生まれ
2001年 本学商学部卒業
2001年4月 TBS入社
2004年 TBS退社後メーカーに転職、
現在アメリカンフットボール選手としても活躍中

うまいもん

藤井好孝さん。炎天下に加えトラックの中は火を使っているため、夏場はかなり暑い。それでも演歌を聞きながら慣れた手つきで焼いていく姿はまさに職人そのものだ。そんな藤井さんは「こやき屋」を始めて今年で5年目だという。この仕事を始めたきっかけは阪神・淡路大震災だった。以前はお寿司の板前をしていたが震災後はあの混乱のなか高級食材の需要が激減し、仕事として成り立たなくなった。復興したといわれていた今日も、震災の傷跡は癒えていないのだという。

「出店した経緯は、今、流行の移動販売に興味を持っていました。そこにやってみないかというお話をいただいた」と語る藤井さん。上ヶ原に来ていたのは、月、水、金曜日の週3日だけ、他の日は夙川や苦楽園、神戸まで足を伸ばすこともあるという。パンの味には絶対の自信があり、オープン初日に試食してもらった人は、必ずもう一度来てくれるんです。リピート率はかなり高いと思います。今は、学生の趣味が多様化しているので、

「お店を出すにあたって注意していることを聞いてみると、こう答えてくれた。『屋外の移動販売なので衛生面には注意を払っています。うちでは、パンにカビをかけてホコリがからないようにしています。あとお客さんが学生中心ということもあって、価格は下げてもいい。他のところでは130円なんですけど、ここでは120円で販売しています。あとは少し落ち込んでいる学生さんも元気になるような呼び込みを心がけています。』

「ここで読者のみなさんにお知らせがある。実はこのメロンパン屋さん、お店の名前がまだ決まっていなくて、採用させていた方にはメロンパン1個を無料でプレゼントします」と藤井さん。お店の名前を考えてメロンパン屋さんに急げ。

関学・神戸三田キャンパスから
一番近い AUTOMOBILE SCHOOL

授業のあいだに
★ ★ ★ ★ ★
楽々教習!

大型科・普通科 (MT・AT)・大型二輪科
普通二輪科 (小型限定)・審査科 (普通・自動二輪)

大学生協
サービスカウンターにて受け付け

お問い合わせは
お気軽にお電話で

TEL三田(0795)
62-2995(代)

SANDA AUTOMOBILE SCHOOL
SAS
SINCE 1963

公安委員会指定技能試験免除
三田自動車学院